



WIENER RING-ENSEMBLE NEW YEAR CONCERT 2025

ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート2025

ヨハン・シュトラウス2世 生誕200年

J.シュトラウス2世: オペレッタ《ジプシー男爵》より 入場行進曲
Johann Strauß II: Einzugsmarsch aus "Der Zigeunerbaron"

J.シュトラウス2世: ワルツ「朝の新聞」
Johann Strauß II: Morgenblätter Walzer op. 279

J.シュトラウス2世: 新しいメロディによるカドリュー
Johann Strauß II: Neue Melodien Quadrille op. 254

ヨーゼフ・シュトラウス: ポルカ・マズルカ「遠方から」
Josef Strauß: Aus der Ferne, Polka Mazur op. 270

ヨーゼフ・シュトラウス: ワルツ「うわごと」
Josef Strauß: Delirien, Walzer op. 212

J.シュトラウス2世: 山賊のギャロップ
Johann Strauß II: Banditengalopp op. 378

J.シュトラウス2世: オペレッタ《ウィーンのカリオストロ》序曲
Johann Strauß II: "Cagliostro in Wien" Ouverture

J.シュトラウス2世: ウィーンのボンボン
Johann Strauß II: Wiener Bonbons op. 307

J.シュトラウス2世: ポルカ「子どもの遊戯」
Johann Strauß II: L'Enfantillage (Zäpperl Polka) op. 202

J.シュトラウス1世: シュペール・ギャロップ
Johann Strauß I: Sperl Galopp op. 42

J.シュトラウス1世: ワルツ「ウィーン情緒」
Johann Strauß I: Wiener Gemüths-Walzer op. 116

エドゥアルト・シュトラウス: ポルカ・シュネル「粹に」
Edward Strauß: Mit Chic, Polka schnell op. 221

J.シュトラウス2世: ポルカ・シュネル「恋と踊りに熱中」
Johann Strauß II: Stürmisch in Lieb' und Tanz, Polka schnell op. 393

編曲: ミハエル・ロート / Arranged by Michael Rot

2025年1/8 (水) 19時 サントリーホール

Wednesday, January 8, 2025 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

料金: S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000

主催: KAJIMOTO 後援: オーストリア共和国大使館



日本の新春に欠かせないウィーン・リング・アンサンブル

初詣、松飾り、雑煮におせち、お屠蘇。音楽は「春の海」など…。そんな日本のお正月の中であって、西洋流のスタイルが入ってきたのはいつ頃からだろう？ シャンパンで乾杯してのパーティ、そしてシュトラウス・ファミリー作曲のワルツ、ポルカ…。こうした音楽でいえば、やはりウィーン・フィル（VPO）の元旦におけるニューイヤーコンサートが衛星中継され始めた1970年代の終わりくらいから？ いや、VPOのこのコンサートは1950年代から始まっているし、もうそのくらいから録音などを通じ、日本に輸入されていたのだろうか？ いずれにしろ現代は、こうしたウィーンの音楽なしでは新春が成り立たなくなかったと言っても過言ではない。そしてそれを象徴するかのように、来年のお正月にもウィーン・リング・アンサンブルが再びやって来る。実に33回目の来日だ。

「VPOのニューイヤーを正月に現地で聴きたい」という願いは、音楽ファンなら誰もが一度はもつだろう。しかしそれはなかなかの“夢”であって、容易には叶わない。しかし私たちは30年以上も前から、ウィーン・リング・アンサンブルを年明けに日本に迎え、聴いている。彼らはVPOの元看板コンサートマスターや現役の首席奏者たち9人の合奏団であって、いわばVPOのエッセンスだ。実は夢の一端が既に叶っていると言っても良いのでは？

折しも2025年は「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世の生誕200年。VPOメンバー、殊にウィーン・リング・アンサンブルがこの記念に相応しい存在だからこそ、今回のシュトラウス・ファミリーのみのプログラムである。ワルツ王の活躍した頃から今に至る、香気と活気ある優雅な文化を存分に味わおうではないか！

(A)

ウィーン・リング・アンサンブル Wiener Ring-Ensemble



©Yukitaka Amemiya

ウィーンの旧市街を取り巻くこの街ならではのみなと環状道路、“リング”にちなんで命名されたこのアンサンブルは、まさにウィーンの音楽を演奏するために結成された。

2016年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスターとして同団を率いたライナー・キュッヒルを中心に、ヴァイオリン2人、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1人にクラリネット2人の9人編成で、ウィーン・フィルの腕利きの主要メンバーたちである。

ウィーン情緒の香り高いシュトラウス・ファミリーやツィラー、ランナーたちのワルツ、ポルカの演奏は、ウィーンに寄せる彼らの愛情と誇りを痛感させ、聴く者をこの上ない幸福感で満たしてくれる。

ウィーン楽友協会での年末恒例のコンサート・シリーズでは、1999年以降、ウィーン・リング・アンサンブルの演奏会が毎年ブラームスザールで行われ、地元ウィーン子の絶賛を集めている。2002年夏には、ルツェルン・フェスティバルに招待された。

日本へは1991年に初来日し、引き続き1993年以降毎年のように来日。ウィーンでの「ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート」に出演後、すぐに日本へ駆けつけてニューイヤー・コンサートを行い、本場の響きと香りをそっくり日本のファンに届けている。

1998年には長野オリンピック文化・芸術祭参加公演に選ばれ、現地で2回の演奏会を行った。その他、度重なるテレビ放映やCDで、日本でもすっかりおなじみの存在である。

2025年は33回目のツアーとなる。

ウィーン・リング・アンサンブル メンバー

ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン) Rainer Küchl, *Violin*
ダニエル・フロシャウアー(ヴァイオリン) Daniel Froschauer, *Violin*
ハインリヒ・コル(ヴィオラ) Heinrich Koll, *Viola*
シュテファン・ガルトマイヤー(チェロ) Stefan Gartmayer, *Cello*
ミヒャエル・ブラデラー(コントラバス) Michael Bladerer, *Contrabass*

カール・ハインツ・シュッツ(フルート) Karl-Heinz Schütz, *Flute*
アレックス・ラドシュテッター(クラリネット) Alex Ladstätter, *Clarinet*
ヨハン・ヒントラー(クラリネット) Johann Hindler, *Clarinet*
ロナルド・ヤネシッツ(ホルン) Ronald Janezic, *Horn*

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic” で検索! @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 282-696)
e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>
CNプレイガイド www.cnplayguide.com
ローソンチケット <https://l-tike.com/>
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017
(オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・
イープラス



一般発売:
10/14(月・祝) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/30(月) 12:00~10/3(木) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713 [10:00~18:00 (初日のみ 12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
●ご来場の皆様に安心して聴きただけですよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 ticket@kajimotomusic.com <https://www.kajimotomusic.com/>